

大あくびなり手袋の手を当てても

12.11.22.43

親方の革手袋が真赤なり

手袋が決定的な証拠なり

踊子の長き手套の赤と黒

子や眠しもう手袋を脱ぐのさへ

ぽんぽんと手袋の手の音楽し

手袋はもしや眠れる猫の下

手袋で叩けばいつもと違ふ音

手袋に憧れてゐる軍手かな

手袋でふ何の術ひもなき名前

ジョギングのマフラ、手袋、紙懐炉

手袋で好きな絵本を撫でてをる

手袋を取り手袋と遊びをる

手袋を知らぬ紫式部かな

轆かれたる手袋パーを出したまま

監督は手袋作業の人軍手

手袋を罪なきものが踏んでゆく

好きなもの母の手袋父の下駄

手袋の中でぬくぬくしてゐる手

なくし易しよ手ぶくろもおぶくろも

細長くひやりと革手袋の闇

手を入れて手袋の手となりにつけり

風船は空に片手袋は地に

手袋をはめて働き始めたる

手袋に五本の指の個包装

手袋に指を温存してをりぬ

手袋に離れ離れとなりし指

手袋のものも言はずに落ちてをる

手袋をした手でもう片方をかな

あまた手の並ぶ手袋売場なり

手袋の大手を振つて歩き出す

うれしくてその手袋で手をたたく

手袋をしたぞと叩く両手かな

拾はれてみても手袋心細

踏まれても踏まれても片手袋がある

手袋の別れ手袋売場なり
12.14.3:26am